

# 有害プランクトン警報 ( R1 No. 1-1)

令和元年11月8日  
千葉県水産総合研究センター

東京湾内湾北部海域でヘテロシグマ アカシオが、  
警戒を必要とする基準を超える密度で確認されました。

令和元年11月7日に持ち込まれた赤潮海水を調べたところ、有害プランクトンのヘテロシグマ アカシオが確認されました。

発生密度の高い海域周辺では、養殖魚、蓄養魚などに影響が出る可能性があるので十分警戒して下さい。

また、気象、海象によっては、他の海域でも増加する可能性があるため警戒が必要です。

- ・ 確認日 令和元年11月7日
- ・ 確認海域 東京湾内湾北部（市川沖）
- ・ プランクトンの種類 ヘテロシグマ アカシオ

| 注意基準を超えた<br>調査地点 | プランクトン密度<br>(細胞/mL) |
|------------------|---------------------|
| 市川沖              | 86,800              |
| 注意基準密度           | 1,000               |
| 警戒基準密度           | 10,000              |



- 1 本種は楕円形をした小さなプランクトン（10～30 μm）で、2本の鞭毛を持ち、回転しながら泳ぎます（右写真）。出現時期は春～秋で、梅雨の時期には赤潮を形成することがあります。  
本種が、海水1 mLあたり10,000細胞以上に増えると、生簀の養殖魚が酸欠等により死亡することがあり、数日停滞した場合には天然魚にも被害が及ぶことがあります。
- 2 今回、本種の赤潮はパッチ状に分布していました。
- 3 海況の変化や魚の動きに十分注意し、必要に応じて餌止め等、早めの対応をお願いします。
- 4 赤潮等、海域の異変を発見した場合は水産総合研究センター、漁業資源課又は水産事務所に連絡してください。

担当 水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所  
電話 0439-65-3071  
FAX 0439-65-3072